

東北復興支援への 具体的な取り組み



株式会社NTTドコモ
2012年3月9日

本資料に記載されている、将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づき、現時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり将来実現しない可能性があります。その原因となる潜在的リスクや不確定要因としては以下の事項があり、これらはいずれも当社グループの事業、業績または財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。また潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

1. 携帯電話の番号ポータビリティ、新規事業者の参入など、通信業界における他の事業者等及び他の技術等との競争の激化や競争レイヤーの広がりをはじめとする市場環境の変化に関連して、当社グループが獲得・維持できる契約数が抑制されたり、ARPUの水準が逡減し続けたり、コストが増大する可能性があること
2. 当社グループが提供している、あるいは新たに導入・提案するサービス・利用形態・販売方式が十分に展開できない場合、当社グループの財務に影響を与えたり、成長が制約される可能性があること
3. 種々の法令・規制・制度の導入や変更または当社グループへの適用により、当社グループの事業運営に制約が課されるなど悪影響が発生し得ること
4. 当社グループが使用可能な周波数及び設備に対する制約に関連して、サービスの質の維持・増進や、顧客満足 of 継続的獲得・維持に悪影響が発生し得ること
5. 当社グループが採用する移動通信システムに関する技術と互換性のある技術を他の移動通信事業者が採用し続ける保証がなく、当社グループの国際サービスを十分に提供できない可能性があること
6. 当社グループの国内外の投資、提携及び協力関係や、新たな事業分野への出資等が適正な収益や機会をもたらす保証がないこと
7. 当社グループの携帯電話端末に決済機能を含む様々な機能が搭載され、当社グループ外の多数の事業者等のサービスが携帯電話端末上で提供されるなかで、端末の故障・欠陥・紛失等や他の事業者等のサービスの不完全性等に起因して問題が発生し得ること
8. 当社グループの提供する製品・サービスの不適切な使用により、当社グループの信頼性・企業イメージに悪影響を与える社会的問題が発生し得ること
9. 当社グループまたは業務委託先等における個人情報を含む業務上の機密情報の不適切な取り扱い等により、当社グループの信頼性・企業イメージの低下等が発生し得ること
10. 当社グループが事業遂行上必要とする知的財産権等の権利につき当該権利の保有者よりライセンス等を受けられず、その結果、特定の技術、商品またはサービスの提供ができなくなる可能性があること、また、当社グループが他者の知的財産権等の権利の侵害を理由に損害賠償責任等を負う可能性があること
11. 自然災害、電力不足等の社会インフラの麻痺、有害物質の拡散、テロ等の災害・事象・事件、及び機器の不具合等やソフトウェアのバグ、ウィルス、ハッキング、不正なアクセス、サイバーアタック等の人為的な要因により、当社グループのサービス提供に必要なネットワークや販売網等の事業への障害が発生し、当社グループの信頼性・企業イメージが低下したり、収入が減少したり、コストが増大する可能性があること
12. 無線通信による健康への悪影響に対する懸念が広まることあり得ること
13. 当社の親会社である日本電信電話株式会社が、当社の他の株主の利益に反する影響力を行使することがあり得ること

東北復興・新生に向けて

■ 復興・新生に向けた東北復興新生支援室の活動

産業振興

防災・街づくり

コミュニティ支援

被災地域の農業・医療
・教育・観光と、モバイル
のマッチング

モデル展開に向けた
関連企業との協業

ITを活用した産業振興・活性化
～地域経済への貢献・雇用促進～

防災・減災につな
がるICTの活用

自治体の街づくり
事業への参画

防災に強い街づくりの実現
～持続と自立～

避難世帯へ
の情報配信

高齢者見守り
買い物支援

モバイル通信による
地域コミュニティの活性化
～絆の再生～

時間

東北復興新生支援室の現時点での取り組み

■ 2011年12月に発足以来、現時点までに以下の事案に取り組んだ

カテゴリ		案件	自治体等	提供開始
コミュニティ支援		フォトパネルを活用した避難世帯向け情報配信システム	双葉町(福島) 南三陸町(宮城)	2012年2月 2012年4月
		タブレットを活用した独居高齢者向けの情報配信・見守りシステム	被災自治体(福島)	2012年夏頃 (予定)
防災・街づくり	教育	防災・街づくりに向けた教育分野の取り組み	教育NPO団体	2012年3月 (実施済)
	防災	エリアメールとエリアワンセグ災害利用の連携検証	石巻市(宮城)	2012年10月
		電力自立型コンテナを活用した監視カメラの設置	南三陸町(宮城)	2012年3月下旬 (予定)
	医療	災害医療におけるモバイル活用の検討	医療機関(宮城)	2012年3月中旬 (予定)
産業振興	農業	タブレットを活用した農業活性化モデル(農産物の風評被害の払拭)	農業関連団体 (福島)	検討中
	IT	産業復興パートナーシップの検討(スマートフォンリモートテストセンターの設置)	会津若松市・ 会津大学(福島)	2012年3月下旬 (予定)
	観光	プレミアパネルを活用した観光宿泊業への顧客誘導	仙台市(宮城)	2011年11月 (実施済)

フォトパネルを活用したコミュニティ支援

- 避難世帯に対するタイムリーな行政情報の提供
- 福島県双葉町（約1,300世帯:2012年2月から実施）
宮城県南三陸町(約1,300世帯:2012年4月から実施予定)

自治体



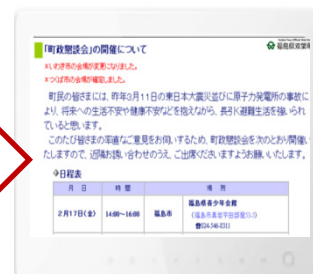
行政情報

おたよりフォト
サイト経由で
メール一斉配信

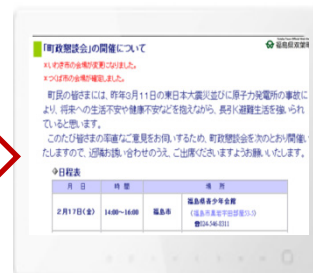
行政情報

行政情報

【避難世帯】



フォトパネル端末

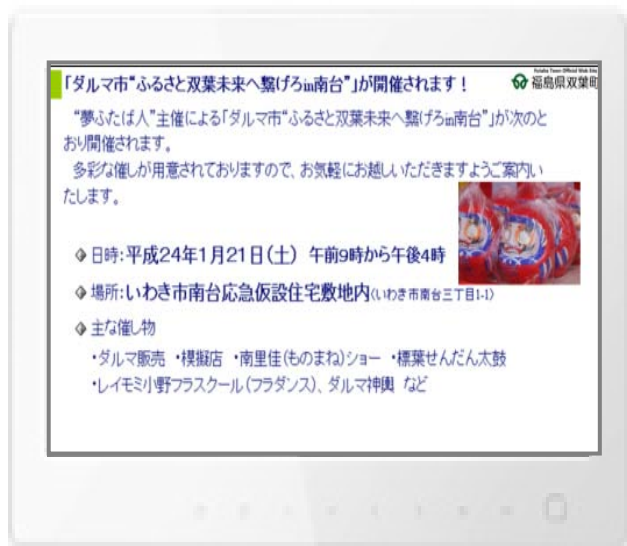


フォトパネル端末



フォトパネルを活用したコミュニティ支援

- 自治体が配布するフォトパネル端末を使い、「役場のお知らせ」を避難世帯に配信



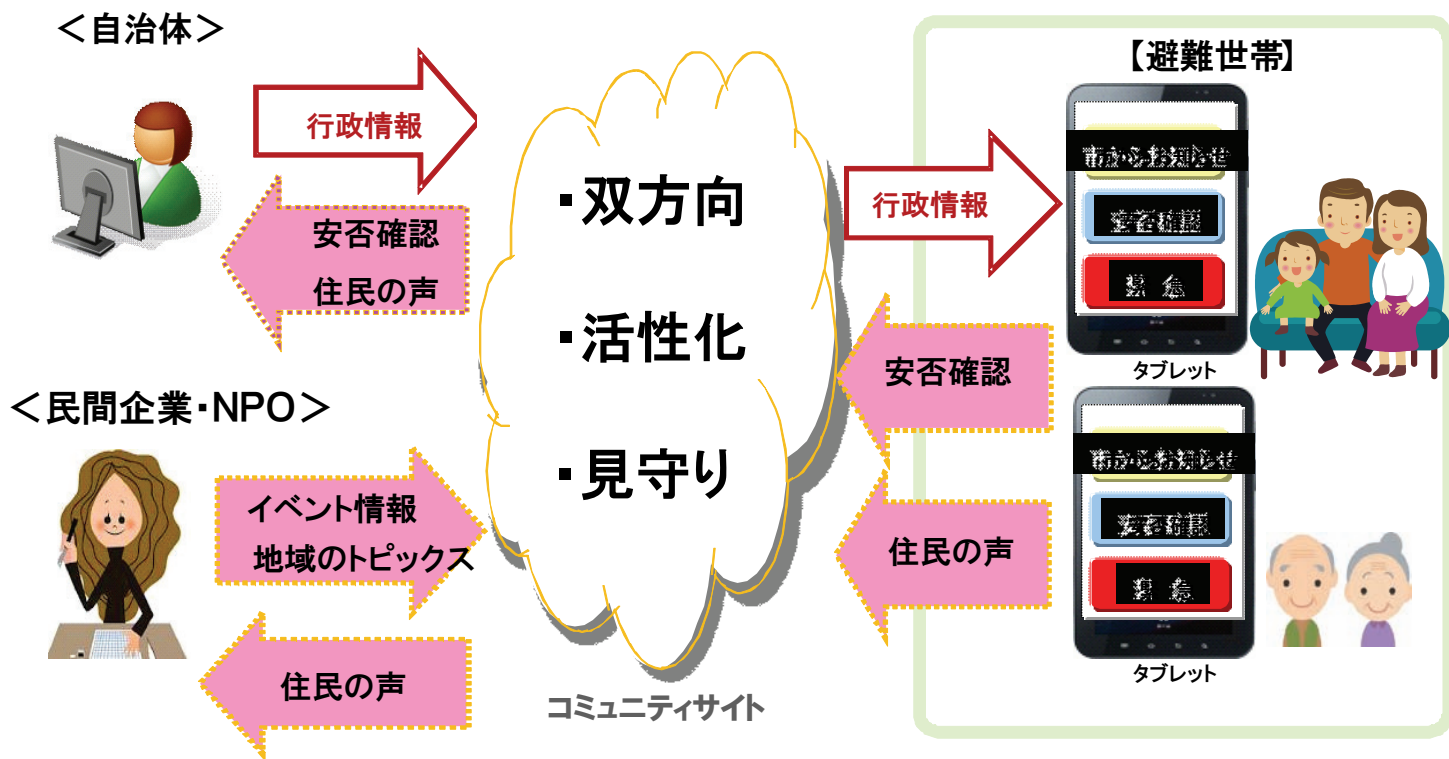
情報配信ごとに画面が最新化



【双葉町災対本部での打ち合わせ模様】

タブレットを活用したコミュニティ支援(高齢者見守り)

- 双方向による地域コミュニティ活性化のため、タブレット端末を活用
- 高齢者にも操作しやすいシンプルな画面
- 福島県被災2自治体に配布予定(約1万世帯:2012年夏頃実施予定)



防災・街づくりに向けた教育分野の取り組み

- 子供たちに「未来の街づくりへの参画」、「震災を忘れない」をテーマに、タブレットを貸与し、防災・街づくり授業を実施
- 3月に2校で実施(大船渡市立赤崎小学校・大船渡小学校)
- 今後、教育現場でのタブレット活用を検討

【NTTドコモ】

モバイル

活用に向けた
ノウハウの提供

アプリケーション

授業で活用できる
アプリケーション紹介

環境

クラウド化に向けた
技術支援

+

【教育NPO団体】

教育コンテンツ

授業コンテンツの開発
指導法・活用方法の研究

学校教育における新たなモバイルの価値創造

防災・街づくりに向けた教育分野の取り組み

■ タブレットを活用した防災・街づくり授業の実施

3月1日 大船渡市立赤崎小学校

『AR(拡張現実)機能を活用した未来の街づくりを体験する授業』



防災・街づくりに向けた教育分野の取り組み

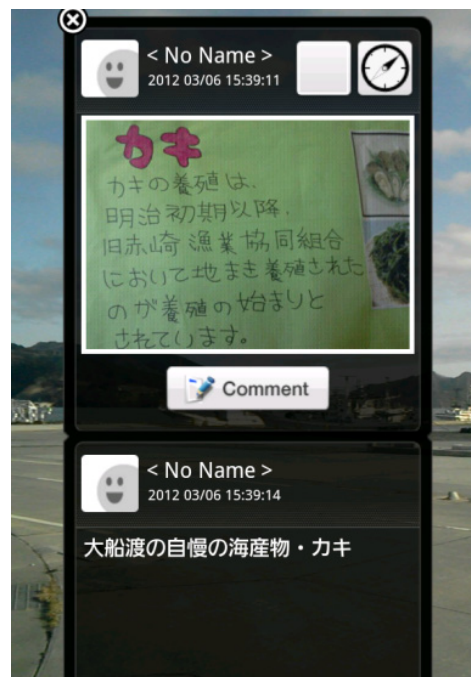
■ タブレットを活用した防災・街づくり授業の実施

3月6日 大船渡市立大船渡小学校

『震災復興に向け、AR(拡張現実)機能を活用し「大船渡の魅力」を発信』

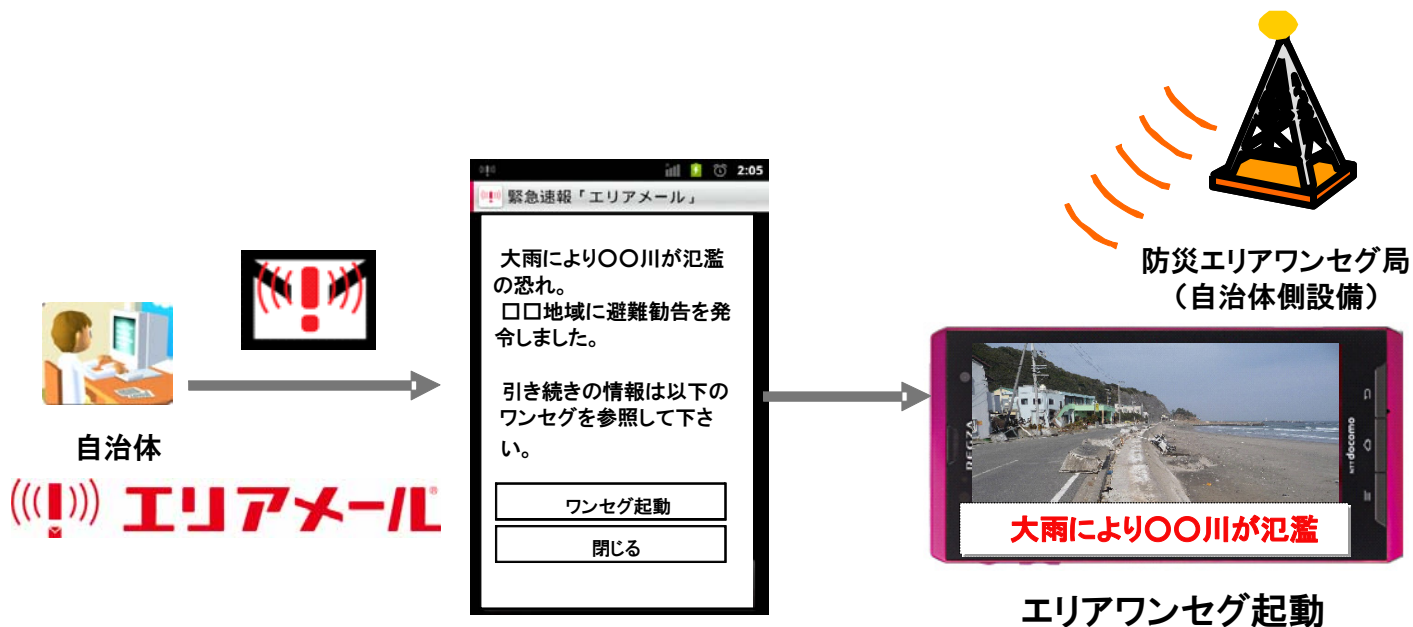


【AR機能で大船渡市の特産品を紹介】



エリアメールとエリアワンセグ災害利用の連携検証

- 携帯電話を活用した防災・減災対策一例として検証
- スマートフォンアプリを開発。石巻市で2012年10月実証実験を予定（マスプロ電気株式会社様と共同実施）



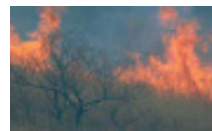
(参考)エリアワンセグとは

- エリアワンセグとは、地上デジタル放送の携帯端末向けサービスであるワンセグ技術を使用して、既存の放送局(テレビ局)の放送とは別に、**狭いエリアに限定して独自の映像やデータを配信するサービス**
- 平成24年4月2日に省令改正され制度がスタートする予定

特長

- ・地域に密着した情報を配信できるため、地域の安心・安全に貢献
- ・ワンセグ受信機能を搭載した携帯電話で利用可能
- ・地上デジタルテレビ放送の空きチャネルを利用

<展開例>



防災・火災情報

- 火災通報・状況
- 避難勧告・誘導 など



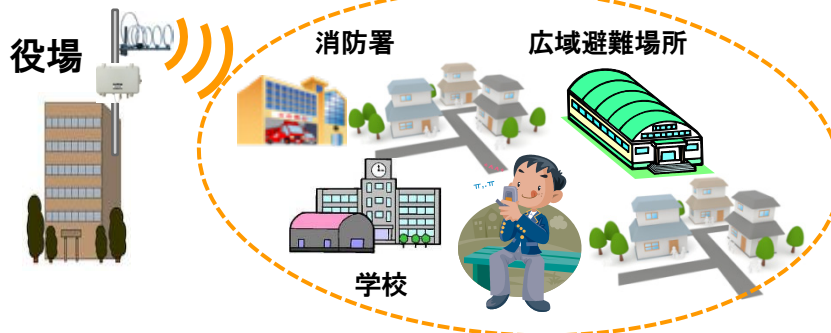
交通情報

- 経路案内
- 渋滞情報
- 運行情報 など



生活・行政情報

- 行政情報
- 防犯板
- 気象情報 など



NTT
docomo